



2024年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年6月13日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー
コード番号 7640 URL <https://www.topculture.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長兼管理部長 (氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 2024年6月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第2四半期の連結業績(2023年11月1日～2024年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	9,792	4.6	162		192		218	
2023年10月期第2四半期	10,265	9.9	166		195		244	

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 214百万円 (%) 2023年10月期第2四半期 232百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	14.00	
2023年10月期第2四半期	20.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第2四半期	17,349	2,186	12.4	1.02
2023年10月期	17,236	2,510	14.3	19.79

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 2,147百万円 2023年10月期 2,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年10月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期		3.00		3.00	6.00
2024年10月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 上記配当の状況は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と管理関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の種類株式の配当の状況をご参照ください。

2. 2024年10月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。今後、予想が可能となった時点で速やかにお知らせさせていただきます。

3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,793	6.1	399		470		866		55.51

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期2Q	16,214,400 株	2023年10月期	16,214,400 株
期末自己株式数	2024年10月期2Q	603,480 株	2023年10月期	603,480 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年10月期2Q	12,403,345 株	2023年10月期2Q	12,084,520 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(A種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
2024年10月期	—	4,000.00			
2024年10月期(予想)			—	4,000.00	8,000.00

(B種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	500.00	—	500.00	1,000.00
2024年10月期	—	500.00			
2024年10月期(予想)			—	500.00	1,000.00

(注) 1株当たり配当金は、円単位未満小数第3位まで計算しその小数第3位を四捨五入して表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更等)	10
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の消費環境は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、人流は回復したものの物価上昇が続く中で、急速な円安の影響もあり消費行動は厳しい状況が続いております。一方で、書店の減少がメディアに取り上げられる中、今年3月に経済産業省が書店振興のためのプロジェクトチームを立ち上げることを発表いたしました。

このような状況のもと、今期は新たな中期経営計画(2024/10月期～2026/10月期)の初年度、「持続可能な書店創りへのチャレンジ」を経営方針として掲げ、収益性の高い店舗モデルの再構築に努めるとともに、改めて読書文化を広げることを推進しております。

昨年10月に持続可能な書店創りを実現するため、新たなパートナーとなりました株式会社トーハンとの連携を強化いたしました。NFTデジタル特典付き出版物の販売を全店舗にて開始した他、様々なオリジナル書籍企画も展開し、読書に触れる機会を創出いたしました。2023年12月には、ドロップシッピングモデルのEC販売(楽天市場トップカルチャーBOOKSTORE)を開業し、トーハン在庫と店頭在庫を連携し、オフライン×オンラインの運用で実施、販売を拡大しております。また、2024年2月より、トーハンが運営する書店スペースレンタルプラットフォーム「ブックスペース」(店頭スペースをイベントなどに提供できる書店として、利用したい業者とネットでマッチングするサービス)に、当社が運営する55店舗を新たに登録いたしました。イベントや催事など多様な用途に利用できるようにすることで、様々な形での書店空間を提供するとともに、書店×〇〇による新たな価値を提供しております。さらに、2024年問題の対策と物流の効率化を図るため、本のみ取り扱いをしておりましたトーハン物流に、文具や雑貨も一緒に配送できるよう、2月から物流体制を刷新いたしました。今後も効率化を推進するとともに、当社店舗以外の書店への展開も検討しております。

また昨年から引き続き、ゲーム・トレーディングカード販売事業を28店舗でふるいちへ事業切替を完了し、ガシャポンバンダイオフィシャルショップを22店舗に導入、新たな来店機会を創出するとともに、イベントやPOP UPショップを強化し、行ってみたい!また行きたい!に繋がる体験価値も創出しております。今年1月には、化粧品ECサイトを運営するノイン株式会社との協業で、化粧品専門店初のフルセルフショップ「NO IN beauty」を蔦屋書店新潟万代にオープンいたしました。前期に子会社化したタリーズコーヒーの飲食事業も売上が伸長し、シナジー効果を牽引しております。

2024年3月9日に宮城県に蔦屋書店イオンタウン仙台泉大沢店をオープンいたしました。同店は、2013年3月16日にオープンしました蔦屋書店仙台泉店を、大型ショッピングセンターであるイオンタウン仙台泉大沢の大規模リニューアルに合わせて、同施設内に移転オープンいたしました。同店には、ふるいちトップブックス、ガシャポンバンダイオフィシャルショップも同時オープンし、まだ全国でも展開が少ない紅茶の取り扱いも行うTULLY'S COFFEE & TEAを当社グループとして初出店いたしました。

第40期上期の店舗状況におきましては、神奈川県と静岡県2店舗を営業終了し、宮城県の1店舗が移転のため1月に営業を終了しましたが、3月に蔦屋書店イオンタウン仙台泉大沢店として移転オープンし店舗数は56店舗となり、グループ全体の店舗数は107店舗(2024年4月30日時点)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,792百万円(前年同期比95.4%)、営業損失162百万円(前年同四半期 営業損失166百万円)、経常損失192百万円(前年同四半期 経常損失195百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失218百万円(前年同四半期 親会社株主に帰属する四半期純損失244百万円)となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、店舗数の減少の影響等により、当社グループの主軸である蔦屋書店事業全体の売上高は8,954百万円(前年同期比89.9%)となりました。

利益面につきましては、徹底したコスト管理を行い販管費の削減に努めました。一方で人件費の上昇、閉店に伴うコスト増加及び出店に伴う先行コストにより、営業損失162百万円(前年同四半期 営業損失166百万円)、経常損失192百万円(前年同四半期 経常損失195百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失218百万円(前年同四半期 親会社株主に帰属する四半期純損失244百万円)となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

① 蔦屋書店事業

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,954百万円（前年同期比89.9%）、セグメント損失は205百万円（前年同四半期 セグメント損失191百万円）となりました。

主力商品の売上高は、書籍5,639百万円（前年同期比92.9%）、特撰雑貨・文具1,642百万円（前年同期比93.8%）、レンタル378百万円（前年同期比74.9%）、ゲーム・リサイクル136百万円（前年同期比50.2%）、賃貸不動産収入254百万円（前年同期比80.1%）、販売用CD112百万円（前年同期比58.0%）、販売用DVD120百万円（前年同期比72.7%）となりました。

② ゲーム・トレーディングカード事業

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高202百万円（前年同期比125.7%）、セグメント利益4百万円（前年同期比188.3%）となりました。

③ スポーツ関連事業

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高115百万円（前年同期比104.0%）、セグメント損失3百万円（前年同四半期 セグメント利益0百万円）となりました。

④ 訪問看護事業

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高80百万円（前年同期比157.4%）、セグメント利益11百万円（前年同四半期 セグメント損失8百万円）となりました。

⑤ 飲食事業

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高562百万円、セグメント利益11百万円となりました。なお、飲食事業については前第3四半期連結累計期間より、新たに開始しているため前年同期比は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産につきましては、前連結会計年度末比112百万円増加し、17,349百万円となりました。これは主に、未収入金が54百万円、その他の流動資産が98百万円それぞれ減少した一方で、現金預金が166百万円、商品が145百万円それぞれ増加した結果、流動資産が219百万円増加し、また、建物及び構築物が43百万円、敷金及び保証金が60百万円それぞれ減少した結果、固定資産が106百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末比436百万円増加し、15,163百万円となりました。これは主に、買掛金が1,249百万円増加した一方で、その他の流動負債が306百万円、一年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が347百万円、リース債務が80百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末比324百万円減少し、2,186百万円となりました。これは主に、剰余金の配当を109百万円実施したこと、及び親会社株主に帰属する四半期純損失を218百万円計上したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前第2四半期連結累計期間末と比べ536百万円減少し、1,727百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は1,107百万円（前年同期比424百万円資金増）となりました。

これは主に、仕入債務の増減額が858百万円増加した一方で、売上債権の増減額が101百万円、棚卸資産の増減額

が130百万円それぞれ減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は18百万円(前年同期比64百万円資金減)となりました。

これは主に、敷金及び保証金の回収による収入が40百万円減少するとともに、敷金及び保証金の差入による支出が22百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は958百万円(前年同期比882百万円資金減)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が300百万円、その他財務活動によるキャッシュ・フローが660百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の連結業績見通しにつきましては、2023年12月14日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,570,708	1,737,212
売掛金	351,448	412,690
商品	7,268,167	7,413,646
前払費用	255,104	254,180
未収入金	162,092	107,891
その他	109,514	10,837
貸倒引当金	△404	△404
流動資産合計	9,716,632	9,936,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,311,744	1,268,021
土地	1,423,310	1,423,310
リース資産(純額)	1,998,956	2,011,388
その他(純額)	61,281	78,236
有形固定資産合計	4,795,292	4,780,956
無形固定資産		
のれん	139,385	128,799
その他	17,853	17,259
無形固定資産合計	157,239	146,059
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,322,112	2,261,246
その他	245,558	225,389
投資その他の資産合計	2,567,670	2,486,635
固定資産合計	7,520,202	7,413,651
資産合計	17,236,835	17,349,705

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,688,332	3,938,001
短期借入金	4,500,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	644,676	595,496
リース債務	335,237	345,923
未払法人税等	49,390	19,809
賞与引当金	30,000	28,000
未払金	280,186	236,123
資産除去債務	5,481	769
その他	573,324	266,890
流動負債合計	9,106,629	9,931,014
固定負債		
長期借入金	2,195,680	1,897,522
リース債務	2,920,864	2,829,378
資産除去債務	180,185	184,430
長期前受収益	1,277	1,973
退職給付に係る負債	33,042	31,492
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期末払金	11,689	9,853
長期預り敷金保証金	214,291	214,912
固定負債合計	5,619,972	5,232,505
負債合計	14,726,601	15,163,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,342,378	100,000
資本剰余金	2,045,929	4,178,474
利益剰余金	△1,643,970	△1,862,589
自己株式	△270,027	△270,027
株主資本合計	2,474,308	2,145,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,435	1,276
その他の包括利益累計額合計	△2,435	1,276
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	30,110	30,802
純資産合計	2,510,233	2,186,185
負債純資産合計	17,236,835	17,349,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年11月1日 至2024年4月30日)
売上高	10,265,542	9,792,552
売上原価	7,069,829	6,542,389
売上総利益	3,195,712	3,250,163
販売費及び一般管理費	3,362,388	3,412,209
営業損失(△)	△166,675	△162,046
営業外収益		
受取利息	4,937	5,458
協賛金収入	3,444	2,569
原子力立地給付金	4,232	3,578
その他	13,518	11,263
営業外収益合計	26,132	22,869
営業外費用		
支払利息	54,731	53,252
その他	—	370
営業外費用合計	54,731	53,623
経常損失(△)	△195,275	△192,799
特別利益		
固定資産売却益	3,458	—
特別利益合計	3,458	—
特別損失		
減損損失	5,860	—
固定資産処分損	34,088	—
リース解約損	—	6,119
特別損失合計	39,948	6,119
税金等調整前四半期純損失(△)	△231,764	△198,918
法人税、住民税及び事業税	12,920	19,007
法人税等合計	12,920	19,007
四半期純損失(△)	△244,684	△217,926
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△377	691
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△244,307	△218,618

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純損失(△)	△244,684	△217,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,579	3,712
その他の包括利益合計	12,579	3,712
四半期包括利益	△232,105	△214,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△231,728	△214,906
非支配株主に係る四半期包括利益	△377	691

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△231,764	△198,918
減価償却費	243,451	204,897
減損損失	5,860	-
のれん償却額	-	10,586
固定資産処分損益(△は益)	34,088	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,000	△2,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,948	△1,550
受取利息及び受取配当金	△4,951	△5,459
支払利息	54,731	53,252
売上債権の増減額(△は増加)	40,155	△61,241
棚卸資産の増減額(△は増加)	△15,328	△145,478
仕入債務の増減額(△は減少)	391,187	1,249,668
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,539	△6,189
リース解約損	-	6,119
長期前払費用の増減額(△は増加)	7,637	△6,030
その他	260,976	93,092
小計	764,555	1,190,748
利息及び配当金の受取額	201	147
利息の支払額	△53,806	△53,252
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△27,941	△30,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	683,008	1,107,060
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,418	△34,178
有形固定資産の売却による収入	11,169	-
無形固定資産の取得による支出	-	△700
投資有価証券の売却による収入	-	30,277
敷金及び保証金の回収による収入	89,966	49,132
敷金及び保証金の差入による支出	△2,479	△24,979
資産除去債務の履行による支出	△5,627	△2,251
その他	1,562	1,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	83,174	18,367
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	△410,149	△347,338
リース債務の返済による支出	△194,599	△172,491
割賦債務の返済による支出	△1,787	-
配当金の支払額	△99,389	△109,094
その他	330,000	△330,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,925	△958,924
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	690,256	166,503
現金及び現金同等物の期首残高	1,573,608	1,560,708
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,263,864	1,727,212

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)	
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
蔦屋書店事業	書籍	6,071,167	59.0	5,639,339	56.9
	特撰雑貨・文具	1,752,074	17.0	1,642,653	16.6
	レンタル	505,312	4.9	378,482	3.8
	賃貸不動産収入	317,734	3.1	254,486	2.6
	ゲーム・リサイクル	271,589	2.6	136,392	1.4
	販売用DVD	165,296	1.6	120,110	1.2
	販売用CD	194,360	1.9	112,736	1.1
	その他	668,189	6.5	561,048	5.7
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	17,768	0.2	109,008	1.1
	計	9,963,492	96.8	8,954,257	90.4
ゲーム・ トレーディング カード事業	外部顧客に対する売上高	161,091	1.6	202,518	2.0
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
	計	161,091	1.6	202,518	2.0
スポーツ関連 事業	外部顧客に対する売上高	107,436	1.0	101,898	1.0
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,109	0.0	13,109	0.1
	計	110,545	1.1	115,007	1.1
訪問看護事業	外部顧客に対する売上高	51,290	0.5	80,733	0.8
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
	計	51,290	0.5	80,733	0.8
飲食事業	外部顧客に対する売上高	—	—	562,153	5.7
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
	計	—	—	562,153	5.7
合計		10,286,419	100.0	9,914,669	100.0

- (注) 1 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。
2 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード他であります。